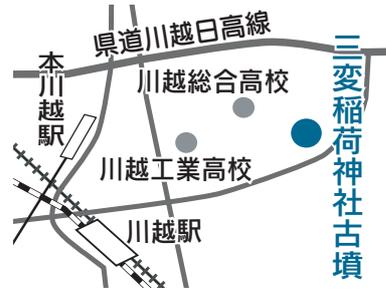


文化財保護課・TEL224-6097

三変稲荷神社古墳出土鏡 (小仙波町四丁目)

三変稲荷神社古墳は、長辺二十五メートル、短辺二十メートル、現存高一・八メートルの方墳です。築造は、出土品の組み合わせや土器の年代観などから古墳時代初めで、入間郡内の最も古い古墳の一つと考えられています。



出土品の中に、直径十三センチほどの鏡がありました。古墳の頂上にあつた埋葬施設の近辺から採集されたもので、死者に供えられていた副葬品の一つと考えられます。この鏡の裏の部分には、真ん中の紐を巡るように龍と神仙の意匠が施されています。この鏡は鼈龍鏡と呼ばれる物です。鼈龍鏡のように古墳から出土する鏡は、大和地方にあつた当時の中央政権が、各地の有力者を掌握するために下賜したものと



出土した鏡 (裏面)

考えられています。鼈龍鏡は、最も格式の高い三角縁神獣鏡に次ぐものです。中央政権がこの古墳の被葬者をいかに重視していたかを知ることが出来ます。

## 市税納期のお知らせ

7月は、固定資産税第2期・国民健康保険税第1期の納期です。

忘れずに納めましょう。

問い合わせ…収税課収税管理担当・TEL 224-5686▶国民健康保険課国保収納担当・TEL224-5837

## どんぐり

編集後記

お気づきでしょうか。4月10日発行号から、広報川越の紙を光沢のない品質へ変更しています。「手触りがやわらかい」「紙面の光沢がなくなった」「写真が落ち着いた色彩となった」など、さまざまなご意見をいただいています。紙質は、引き続き検討していきたいと思っております▶市役所からのお知らせや、地域での出来事などをお伝えする、広報。これからも、身近な暮らしの情報誌として、読みやすく、分かりやすい紙面づくりに努めていきます。

## 世界の国から、こんにちは!



### ブラジル/サイトウ・グレイディさん

出身は、赤道に近いパラ州のベレン市です。首都のブラジリアから飛行機で2時間くらいかかります。日系2世の夫の両親が川越に住んでいるため、日本に来ました。

南国フルーツの香りにあふれ、日中は常に30度を超える地域から来たので、日本の冬はとても寒く感じます。川越は自然が豊かなばかりでなく、ひとひとの心も豊かで、秩序正しいですね。時間があると水上公園に散歩に行きます。ゆったりとした気持ちになれるので、私のお気に入りの場所です。川越は花の香りが漂うまちですね。

\*外国籍市民の皆さんを対象にした相談は、23ページをご覧ください。

国際交流課・TEL224-5506